

自分の心と行動を整え、良いまとめをしよう！

時雨に山々も色褪せ、冬の様を呈してまいりました。平素は聖母の小さな学校の教育にご理解とご協力をいただき、深く感謝いたしております。さて、いよいよ2学期を締めくくる月となりました。それぞれの生徒の変化を見ますと、中学を卒業後も聖母に在籍し、高校の通信制過程で学んでいる生徒は1学期は出席簿記入のみという登校から、徐々に30分、1時間と他の生徒と共に学ぶ時間が増え、今では毎日、聖母の学習プログラムをこなし、充実した時を持つことができていること、また、外に出にくい生徒も、聖母への登校が増え、親子行事にも参加できたこと、原籍校へ2学期から週1回の夕方登校を始めた生徒も、10月のスポーツフェスタで真面目に自分の不登校と向き合い、自分が本当に学校に行きづらいことの核心に少し触れ、週2回、半日なら行けそうだと、少しずつ通い始めています。自分が不登校になった理由も分からず、どのように不登校から学べばいいのかもわからず、なんとなくゆるやかなところなら過ごせると、核心に触れないままいるのでなく、せめて自分が不登校の時に、「自分はこの点が難しい、苦手だ」ということに気づき、その課題に取り組みたいものです。

11月1日には、周到な準備のもと創立30周年記念企画「鯖街道を歩く」を実施いたしました。歴史の道であり、経済の道であり、生活の道である街道の学びは、総合学習として幅広く、深く、今後の聖母の小さな学校の教育に受け継がれるものとなります。山下 正先生の指導のもと、城北中学校の2名の先生も引率してくださいました。また、11月23日には、親子バス遠足「戦国時代の城跡を訪ねる旅～黒井城跡～」を実施し、親子で、また、他の保護者と交わり楽しく過ごせました。

11月には、家庭科「手芸：刺し子」も始まりました。一針一針刺し、形に仕上げることは、指先だけではなく、体全体を使って丁寧に動くことにつながります。「珠算」も頭の動き、また、手の動き、数字と機能の活動が促され、楽しいようです。様々な体験学習を通して、自分自身をつかみ、自己を知ること、他者とつながること、を通して社会へ出てゆく力を付けたいと思います。家庭でも、この2学期を振り返り、気づいた点を大切に、次のステップへと生かしてください。

<今月の主な行事>

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 5日(土)「鯖街道を歩く 第2回目」 | 14日(月)・17日(木) 手芸 |
| 8日(火)・15日(火) 珠算教室 | 18日(金) 陶芸教室 |
| 10日(木) 特別授業「数学」 | 23日(水) クリスマス会 |
| 11日(金) ギター教室 | 25日(金) 2学期終業式 |
| 13日(日) 学期末保護者会 13:30～ | |



11/1 鯖街道を歩く
第1回



11/23 親子バス遠足
～黒井城跡～